日本環境安全事業株式会社　入札監視委員会
平成２５年度　議事概要

日本環境安全事業株式会社（以下「ＪＥＳＣＯ」という。）入札監視委員会の平成２５年度委員会が、平成２６年１月１５日、ＪＥＳＣＯ本社において開催されました。議事の概要についてお知らせ致します。

<table>
<tr><td>開催日及び場所</td><td colspan="4">平成26年1月15日（水）
JESCO本社 A会議室</td></tr>
<tr><td>委員</td><td colspan="4">委員長　小林　光　（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）
委　員　浜田　康敬（公益財団法人給水工事技術振興財団理事長）
委　員　稲垣　隆司（学校法人名古屋学院大学理事長）</td></tr>
<tr><td>審議対象期間</td><td colspan="4">平成24年10月1日～平成25年9月30日</td></tr>
<tr><td rowspan="3">抽出案件</td><td colspan="2">工事（計15件）</td><td colspan="2">業務（運転、点検、調査）（計41件）</td></tr>
<tr><td>H24（下期）</td><td>H25（上期）</td><td>H24（下期）</td><td>H25（上期）</td></tr>
<tr><td>一般競争
指名競争
随意契約
競争性のある随意契約</td><td>0
0
3
0</td><td>1
0
11
0</td><td>0
0
11
0</td><td>1
1
28
0</td></tr>
<tr><td rowspan="2">委員からの意見・質問及び回答</td><td colspan="2">意見・質問</td><td colspan="2">回答</td></tr>
<tr><td colspan="4">【別紙】のとおり</td></tr>
<tr><td>委員会による意見の具申又は勧告の内容</td><td colspan="4">今回審議した内容については特に意見の具申又は勧告をするようなことはないが、以下の点について、今後の業務の改善に役立てること。
1　大変特殊な事業なので随意契約をすることがやむを得ないものが多くある。そのため、過去10年間の知見の集積を活用して価格を押さえる意識を失わず努力を継続することが必要である。
2　安全操業が第一であるという前提は堅持した上で、調査関係については企画</td></tr>
</table>

	競争や総合評価落札方式への移行を進める等により技術提案を取り入れてもクオリティーが確保できるように工夫する必要がある。 ３ 業者選定や予定価格策定に係る経緯等について、より詳細かつ丁寧に資料で表現する努力が必要である。 ４ 発注状況の報告に当たっては、入札の改善に向けて日頃取り組んでいること等について報告をするとともに、今回抽出した案件だけでなく他の案件の改善の状況等についても報告をする必要がある。

【別紙】委員からの意見及び回答

意見・質問	回　答
【工事】一般競争入札 **(1) 東京換気空調設備給排気ファン軸受更新工事**	
○　この一般競争に参加できる者は潜在的には何者くらいいたのか。また、予定価格はどのようにして作成したのか。	○　入札参加資格として機械設備工事または水環境処理工事における建設業法の総合評定値が７８０点以上としているが、該当する者は、重なっているとは思われるが、機械設備工事が約４００者、水環境処理工事が約２００者となっている。また、回転機器における同種工事の実績という資格も加えると、少なくとも数十者は参加資格を有していたと認識している。予定価格については、JESCO の積算基準に基づいて作成しているが、具体には、人件費については公共労務単価、消耗品については刊行物や見積による単価、諸経費については公共保全業務の基準に基づく率を採用して算定している。
○ 低入札の調査基準価格はどのように算定しているのか。	○　国土交通省が定めた基準に準じて内部規則を定めており、工事については、直接工事費が１０分の９．５、共通仮説費が１０分の９、現場管理費が１０分の８、一般管理費が１０分の５．５とそれぞれの率を乗じて算出している。工事の場合、概ね予定価格の８５％～９０％の範囲内で低入札の調査基準価格が収まるケースが多い。

【工事】随意契約 **⑵ 豊田小型トランス解体エリア改造工事**	
○　他の事業所においてＰＣＢ廃棄物処理施設の工事の実績を持つ業者は他にもあると思うが、随意契約となっている。全国の５事業所は同じ施設ではないためか。	○　ＪＥＳＣＯの５施設は同じ施設ではないため当初の設備を設計･施工した業者が本工事を唯一実施可能な者であると判断した。なお、改造工事は定期点検時の短期間に設計も工事も実施する必要がある。また、安全が第一であり、操業後に万が一トラブルが発生するようなことも許されない。このようなことから当該施設についての設計･施工経験が不可欠である。
○　当初の参考見積額は予定価格に対して相当高額であったのか。	○　予定価格に対して当初の参考見積額は１億円以上高額であった。
【業務】指名競争入札 **⑴ 東京水熱ＰＣＢ高圧ポンプ等定期点検業務（Ｈ２５）**	
○　他の事業所の管理区域での作業実績を持つポンプメーカもいるので、そういう者でも参加できるのではないか。当該設備における実績が必要であるとしている理由はポンプの特殊性にあるのか。	○　この指名競争で対象としているポンプは特殊なポンプであり、この特殊なポンプの取扱いについての実績がないと実施が困難であると判断した。
○　当該設備における実績が必要ということで２者しか指名していないとのことであるが、３者や４者指名できないのか。	○　この指名競争で対象としているポンプは特殊なポンプであり、現時点ではこの２者に限定されている。
【業務】随意契約 **⑵ 平成２５年度ＰＣＢ廃棄物処理施設の経年に伴う設備影響等調査業務**	
○　調査業務なので、随意契約先以外にも提案が	○　この設備の経年劣化に関する調査は非常にデ

できる業者があるのではないか。総合評価落札方式等は選択できないのか。	リケートな業務なので、確実に実施することがより強く求められているため過去の実績を重視して随意契約としているが、ご指摘を踏まえて、今後、入札形態について考えていく。
○　実績のある者に任せるというのも一つの見識だが、より良い内容となるようにいろいろな知恵を発掘することも大事である。総合評価の場合、提案が高く評価された者であっても、他に極端に安価な入札をした者が受注することになると折角の良い提案も、価格が安いものの提案の特にない企業に譲らざるを得ないことも考えられる。企画競争も検討するべきではないか。	○　今後は継続業務の初年度から、ご指摘を踏まえて企画競争や総合評価等について検討していく。

【議事概要参考】

日本環境安全事業株式会社入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成１２年法律第１２７号）の趣旨を踏まえ設置された第三者機関です。

同委員会の任務は、以下のとおりです。

① ＪＥＳＣＯが発注したＰＣＢ廃棄物処理事業に係る工事等に関し、入札・契約手続の運用状況について報告を受けること。

② 当該工事等の中から委員会が無作為に抽出したものについて、一般競争参加資格の設定の理由及び経緯並びに指名競争入札に係る指名の理由及び経過等について審議を行い意見の具申又は勧告を行うこと、不適切な点又は改善すべき点があると認めた場合に意見の具申又は勧告を行うこと。

③ 公募型及び通常指名競争入札並びに随意契約における入札・契約手続に係る再苦情処理を行うこと。

【問合せ先】

東京都港区芝一丁目７番１７号　住友不動産芝ビル３号館４Ｆ
日本環境安全事業株式会社
管理部入札監視委員会事務局
契約・購買課